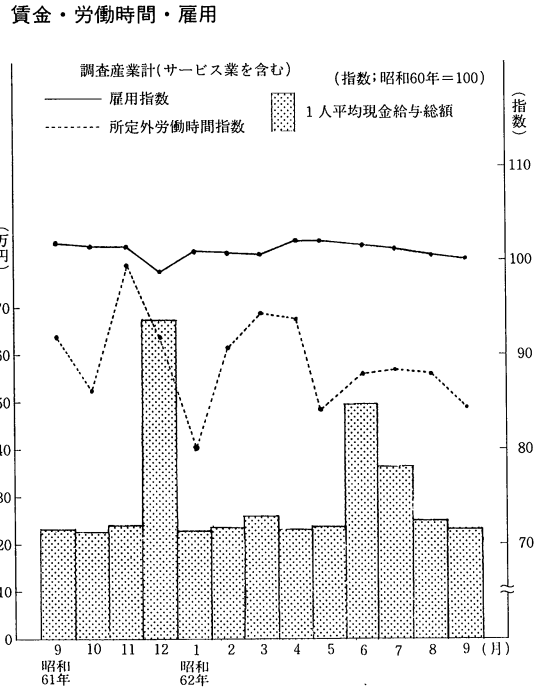
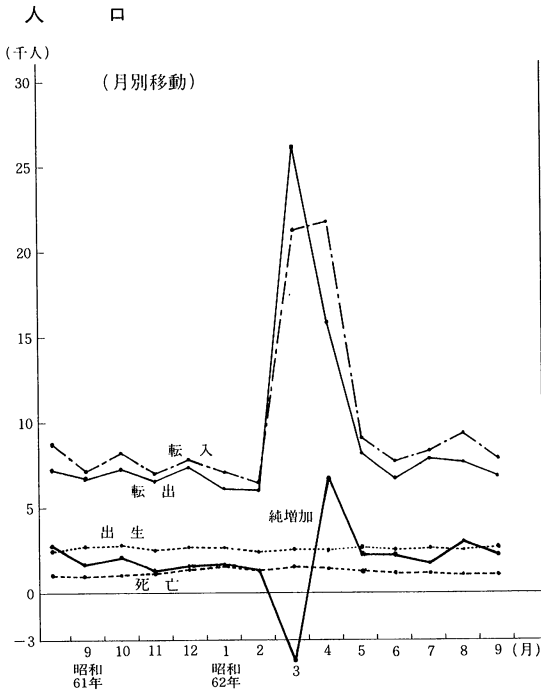
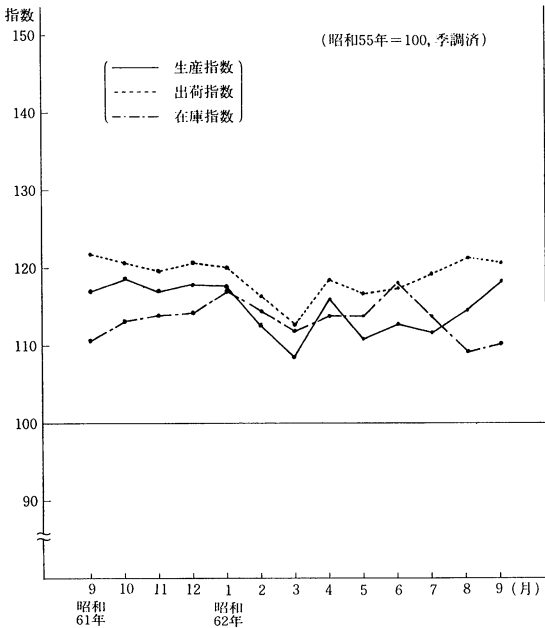


● 今月の主な動き

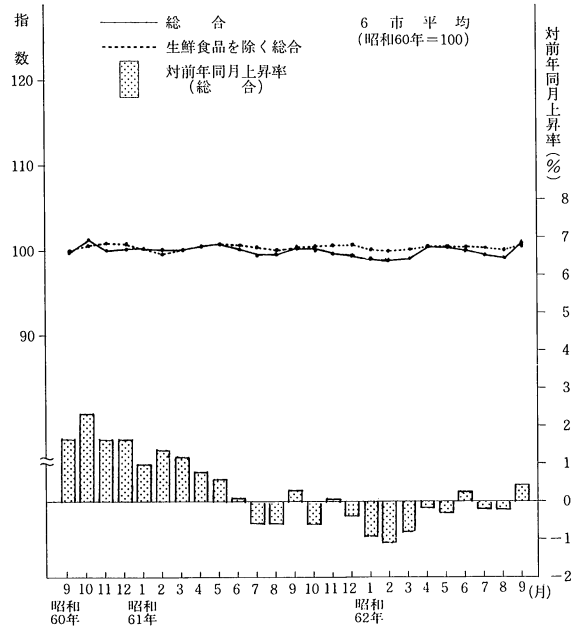
今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■ 人 口 (10月1日)

本県の人口は、9月中に2,247人増加し、10月1日現在で2,769,973人(男1,380,613人,女1,389,360人)となった。

内訳は、自然動態で1,367人(出生2,705人,死亡1,338人)、社会動態で880人(転入7,883人,転出7,003人)、それぞれ増加した。昨年10月1日現在と比較すると、数で

23,663人、率で0.86%の増加である。

市町村別では、増加が16市52町村、減少が3市19町村、増減なしが2村である。

世帯数についても、855世帯増加して、782,609世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (9月)

1. 平均賃金の推移

9月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は242,559円で前月に比べ5.5%減(前年同月比3.2%増)であった。

このうちきまって支給する給与は240,353円で前月に比べ1.3%増(前年同月比3.2%増)であり、特別に支払われた給与は2,206円で前年同月に比べ107円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は176.4時間で、前月に比べ8.4%増(前年同月比0.8%減)であった。

このうち所定内労働時間数は159.2時間で、前月に比べ8.5%増(前年同月比1.2%減)であり、所定外労働時間数は17.2時間で、前月に比べ7.5%増(前年同月比2.9%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると100.5で、増減率は前月に比べ0.3%減、前年同月に比べ1.8%減であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (9月)

本県における昭和62年9月の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が118.3、出荷が120.9、在庫が110.3で前月比は、生産が3.1%の上昇、出荷が△0.5%の低下、在庫が1.0%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が1.4%の上昇、出荷が△0.3%の低下、在庫が横ばいであった。

業種別に前月比をみると、生産では、輸送機械工業、電気機械工業、非鉄金属工業等が上昇し、鉄鋼業、金属製品工業、精密機械工業等が低下した。出荷では、輸送機械工業、食料品・たばこ工業、非鉄金属工業等が上昇し、鉄鋼

業、鉱業、精密機械工業等が低下した。在庫では、精密機械工業、鉄鋼業、輸送機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、化学工業、鉱業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、資本財、非耐久消費財、耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、鉱工業用生産財が低下した。出荷では、非耐久消費財、耐久消費財等が上昇し、建設財、鉱工業用生産財等が低下した。在庫では、その他用生産財、建設財、非耐久消費財等が上昇し、鉱工業用生産財、耐久消費財が低下した。

■ 消費者物価指数 (9月)

昭和62年9月の茨城県消費者物価指数は、総合で101.0(昭和60年=100)となり前月比1.4%の上昇、前年同月比0.5%の上昇となった。

今月上がった主な項目……果物19.1%(うち生鮮果物20.0%)、野菜・海藻12.0%(うち生鮮野菜20.4%)

今月下がった主な項目……他の教養娯楽△0.8%(うち教養娯楽用品△1.6%)、教養娯楽耐久財△0.7%、交通△0.6%、菓子類△0.4%

生鮮食品(生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物)を除く総合は100.7となり、前月に比べ0.3%の上昇、前年同月に比べる

と0.1%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	101.0	1.4	0.5	保健医療	103.0	0.1	1.2
食 料	100.7	2.9	0.3	交通通信	100.9	△0.2	1.7
住 居	105.1	0.0	2.4	教 育	110.1	0.0	5.3
光熱・水道	89.9	0.0	△4.1	教養娯楽	100.8	△0.8	△0.1
家具・家事用品	99.4	0.4	△0.4	諸 雑 費	103.0	0.0	0.5
被服及び履物	102.3	5.2	△0.4	生鮮食品と除総合	100.7	0.3	0.1